

20 森のつながり

松ぼっくりと松葉で「親子つながり」、松葉とヒイラギの葉で「ちくちくつながり」・・・と自然の中にあるものを観察して、さまざまなものの中から共通した性質を見つけ出し、次々に結び付けていく活動です。

自然を観察し、「つながり」を見つけることによって、自然に対する見方も変わってくることでしょ。



時期	通年 (積雪時不可)	所要時間	1時間程度	活動場所	自然の家周辺
対象	小学生以上	人数	制限なし グループで行う場合は1グループ3～6人		
準備物	自然の家で貸し出すもの		団体や個人で準備するもの		
	<input type="checkbox"/> 画板 <input type="checkbox"/> 看板「この先進めません」見本		各グループに <input type="checkbox"/> 白い画用紙 <input type="checkbox"/> セロハンテープ <input type="checkbox"/> 筆記用具(マジックやクレヨン) <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 腕時計		
活動の手順	活動の実際	<p>1 活動の説明</p> <p>(1) ゲーム方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 森の中に入って、共通した性質<つながり>のあるものを見つける。 ※ドングリと松ぼっくり等の実物を見せて、この2つは同じ「実」なので「実つながり」、松ぼっくりと松の葉は同じ松なので「親子つながり」・・・など例を示して説明するとよい。 次々と共通点を見つけてつなげていく。 見つけたものはビニール袋等に入れる。 時間が来たら(探す時間は20分程度)集まって、画用紙に採集したものをセロハンテープで留め、「～つながり」というように、どんなつながりがあるかを書く。 一度使った"つながり"は、再度使わないようにする。 <p>(2) 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を大切にし、必要以上のものは採集しない。 グループで一緒に行動する。 ウルシ、ツタウルシに気を付け、遊歩道を歩く。 ※遊歩道以外の場所を通るとウルシに触れてしまうことがある。 ※実物を見せて確認するとよい。 <p>2 集合時刻を確認する。</p> <p>3 グループごとに見つけに行く。</p> <p>4 時間になったら集合し、グループごとにつなごりを画用紙に書く。</p> <p>5 画用紙を見せながら発表会を行う。</p>			
備考	<p>1 持ってくるできないものは、スケッチさせることで対応します。</p> <p>2 どんなつながりが答えを伏せて、他のグループに考えて当てさせるような発表の仕方も可能です。</p>				

「森のつながり」参考：日本教育科学研究所 IORE SHEET